



世界を変える 8つの目標

MDGs (ミレニアム開発目標)

～世界の「貧しい」を半分に。MDGs2015キャンペーン

(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) 調査・提言グループ

MDGsとは

MDGs(エム・ディー・ジーズ)をご存知ですか？
MDGs (Millennium Development Goals : ミレニアム開発目標) は、「2015年までに世界の貧困を半減すること」などをめし、開発途上国の貧困問題の解決のために、国連や各国政府などの諸機関が共通の目標として8つの目標にまとめたものです。日本を含む189カ国が採択した2000年の「国連ミレニアム宣言」と、主な国際開発目標を基に設定され、達成期限と指標が設定された画期的な目標です。

MDGsの8つの目標

目標1：飢餓や貧困をなくそう！
目標2：小学校に通えるようにしましょう！
目標3：性による差別をなくそう！
目標4：赤ちゃんをまもろう！
目標5：お母さんをまもろう！
目標6：病気をふせごう！
目標7：環境をよくしよう！
目標8：世界のみんで助け合おう！

達成期限の2015年まで残り5年と迫った現在、世界の貧困と環境問題はますます深刻となり、目標達成は危ぶまれています。特に日本では、MDGsの存在自体が広く知られていないため、他の先進諸国に比べて目標達成の機運が低迷しており、日本政府も約束した拠出金の支払いを滞

らせています。2010年9月20～22日、ニューヨークの国連本部にて、MDGs国連首脳会合（国連MDGsレビューサミット）が開催され、達成状況を振り返り、2015年までの具体的な道筋が話し合われました。

MDGsに関するJANICの取り組み

1. 世界の「貧しい」を半分に。MDGs2015キャンペーン

2010年4月、JANICは、MDGsの意義を広く社会に知らせるとともに、その目標達成のために行動する人を増やすことを目的として、MDGs2015キャンペーンを開始しました。このキャンペーンでは、さまざまなセクターと市民が一緒になってMDGs達成を目指し、世界の貧困削減のためにできることを提案しています。キャンペーンサイトでは、誰でも簡単に参加できるメッセージの投稿や、イベント・セミナーの案内、募金などを行っています（キャンペーンサイト <http://mdgs2015jp.jp>）。

MDGs2015キャンペーンでは、国連MDGsレビューサミット最終日の9月22日、東京で特別イベント「世界の貧困は、減らすことができたのか？」を開催しました。



世界の「貧しい」を半分に。MDGs2015

© MDGs2015 実行委員会
キャンペーンロゴ



特別イベントには約250人が参加

イベントでは、ニューヨークと会場をつないで、サミットの最新情報をレポートしたほか、MDGsの基礎知識や、途上国、企業、NGO、市民それぞれの立場から具体的な取り組みを発表いただき、会場全員で私たちができることを考えました。当日の記録はソーシャルブリッジTV live(<http://social-bridge.tv/live/>)でご覧いただけます。

2. MDGsに関する提言活動

JANICでは、MDGsを広めるキャンペーン活動と並行して、MDGs達成のための提言活動を行っています。MDGs達成のためには、ODA（政府開発援助）の質の向上と必要な資金の拠出が不可欠です。また政府だけでなく、市民・NGOが世界の課題に自発的に取り組み、国境を越えて協力することが重要です。JANICはNGOが蓄積してきた知見と十分な調査に基づいて提言活動を行い、また市民のMDGsへの理解・行動を促進することによって、2015年のMDGs達成と持続可能な社会の実現を目指しています。

(1) 外務省との意見交換会、緊急提言書を提出

2010年8月27日、国連MDGsレビューサミットに関するNGOと外務省の意見交換会が開催されました。JANICはこの席上で、「動く→動かす」と連名で、同サミットに向けた緊急提言書を提出しました(<http://www.janic.org/> からダウンロード可能)。

この提言書では、日本政府に対して、MDGsの達成に向け、ODAの減額傾向を反転させ、2015年にはODAのGNI（国民総所得）比0.7%という国際目標を達成すること、国際協調による援助効

果の増大に積極的に協力すること、MDGs達成に必要な革新的資金創出メカニズムの創設に積極的に取り組むことなどを提言しました。

その後の国連MDGsレビューサミットでの演説で、菅総理大臣は、今後5年間で教育と保健分野に85億ドル（約7,200億円）を拠出するという「菅コミットメント」を発表し、一定の評価を得ましたが、世界有数の経済力を持つ日本としては大きな額ではなく、今回の提言で求めたODAのGNI比0.7%の達成については残念ながら言及がありませんでした。

(2) JANIC理事長が政府代表団に参加、スタッフを現地に派遣

国連MDGsレビューサミットの日本政府代表団にNGOからJANIC理事長の大橋正明と、ジョイセフの矢口真琴さんの2名が参加し、国連内外での会議や演説、サイドイベントの様子がNGOの目を通して日本に伝えられました。今回、NGOの政府代表団参加が実現したことは、高く評価できることでしたが、現地での外務省とNGOの情報シェアの不足や、実質的な議論への参加という意味では課題が残りました。

また、JANICでは、調査・提言グループからスタッフを1名現地に派遣しました。サミット開催に向けての現地の盛り上がり、NGOや各機関が開催したサイドイベントの様子などを、前述の特別イベントのほか、MDGs2015キャンペーンブログ(<http://ameblo.jp/mdgs20151>)やtwitter(@MDGs2015jp)でも報告しています。

JANICでは、今後もMDGsの達成に向けて、さまざまな企画や活動を行っていきます。世界の貧困問題を解決するために、自治体、地域のみならず、ぜひ活動にご参加ください。

*

MDGs達成のために活動するNGOを支援する募金のご案内をP.56に掲載しています。ぜひご支援をお願いします。

(特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 アバコビル5F

Tel: 03-5292-2911 Email: global-citizen@janic.org URL: <http://www.janic.org/>